

465 既存のトイレに被せるだけで尿と便を分ける簡易型トイレの開発

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
株式会社ホクコン 【平成 30 年】	8210001011942	インフラ関連事業者 【製造業】	福井県

- プレキャストコンクリートメーカーである株式会社ホクコンは、水や電気が使えなくても既存のトイレに被せるだけで使用できる簡易型トイレを平成 27 年 7 月に開発した。
- 東日本大震災時に、「トイレの未来を考える会」（代表：京都大学清水芳久教授）が試作したポータブル型の「し尿分離トイレ」を被災地に提供したところ、好評を博し、製品化の要望が高かった。同社は、東日本大震災を機に防災事業に取り組む中で、同商品の製品化への共同開発を行い、販売を始めた。
- 同社では、尿と便を分け、各々に消石灰の添付しアルカリ化することで悪臭の発生を防止させた。また分離した便は可燃ごみとして焼却処分を可能と、尿は消石灰により病原菌を含まない状態にし、放流や土壌肥料としての利用も可能としている。
- 尿と便を分けることで、避難所で大量に出る排泄物ゴミを減量でき、ゴミの置き場所省スペース化・臭いの問題・焼却処分に際し有効であるとしている。



▲簡易型「し尿分離型
トイレ」